

原子核工学科参照

0066 工場管理

機械学科参照

0067 工業経済

機械学科参照

0068 工学概論第1

機械学科参照

0069 工学概論第2

機械学科参照

0070 工学概論第3

機械学科参照

土 木 工 学 科

0005 数学及び数学演習 C第1

週4時間(講義2時間, 演習2時間) 3単位

常微分方程式(求積法, 線形方程式)

フーリエ解析(フーリエ級数, フーリエ積分)

0006 数学及び数学演習C第2

週4時間(講義2時間, 演習2時間) 3単位

特殊関数(球関数, ベッセル関数など)

偏微分方程式(ラプラス-ポアソンの方程式, 熱方程式, 波動方程式)

0007 力学及び力学演習A第1

機械学科参照

0800 構造力学第1

週2時間 2単位(前期)

- | | |
|--|---------|
| 1. 緒論 | 時間
2 |
| 2. 力およびモーメント | 2 |
| 3. 構造材料の力学的性質 | 2 |
| 4. 引張および圧縮, 組合せ応力, せん断力 | 2 |
| 5. 断面の諸量, 静定ばり | 2 |
| 6. 荷重と支点反力, 断面力 | 2 |
| 7. 曲げモーメント図, せん断力図, 曲げモーメントとせん断力, 分布荷重との関係 | 2 |
| 8. 曲げモーメント, せん断力の数値計算法(Newmarkの方法) | 2 |
| 9. 単純ばり, 片持ばり, ゲルバーばりの影響線 | 2 |
| 10. 曲げに伴うせん断応力, はりの主応力度, 組立ばり直線ばりの弾性曲線 | 2 |

	時間
11. 曲げモーメントによるたわみの微分方程式による解法, Mohr の定理	2
12. Mohr の定理, Maclaurin 定理の応用によるはりのたわみの解法	2
13. Newmark の方法による, はりのたわみ, たわみ角の計算法	2
14. はりのたわみに及ぼすせん断力の影響	2
15. まとめ	2

0801 構造力学 第 2

週 2 時間 2 単位 (後期)

1. 弾性基礎上のはりの解法	2
2. 級数法によるはりの解法	2
3. 一端固定, 他端移動支点のはり, 固定ばりの解法	2
4. 連続ばりの解法	4
5. 伝達マトリックスによるはりの解法	2
6. 柱 (短柱, 長柱)	4
7. 静定トラス	6
8. 静定アーチ	2
9. 棒のねじり	2
10. まとめ	4

0802 構造力学 第 3

週 2 時間 2 単位 (前期)

1. 不静定構造物の解法概論	2
2. たわみ角法の公式	2
3. たわみ角法による節点および層のつり合い条件式	2
4. たわみ角法によるラーメンの解法	4
5. 高層多スパンラーメンのつり合い方程式の機械的作表法	2
6. 連立一次方程式の解法	2
7. 変断面部材のたわみ角法公式, ラーメンの温度応力	2
8. Cross の方法	4
9. 腐部屋のたわみ角分配法, Kani 法	4
10. 剛性マトリックス法による構造物の解法	4
11. まとめ	2

0803 土木材料学

週 2 時間 2 単位

1. 一般	4
2. 材料の性質に関連する学問	6
3. 設計理論	4
4. 試験および測定原理	6
5. 材料各論	6
6. 材料力学演習	4

0059 土質力学第1

週2時間 2単位(後期)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 土質力学の歴史 | 1 |
| 2. 土の基本的性質
密度, 間げき比, 含水比, 飽和度など | 2 |
| 3. 土の粒度 | 1 |
| 4. 土のコンシステンシー
液性限界, 塑性限界, 収縮限界 | 1 |
| 5. 土の分類 | 2 |
| 6. 土の構造 | 2 |
| 7. 土中の水とその動き | 2 |
| 8. 土の透水性 | 4 |
| 9. 土の凍結と凍上 | 1 |
| 10. 土の圧縮性 | 2 |
| 11. 土の圧密 | 4 |
| 12. 地盤の沈下 | 2 |
| 13. 土の締め固め | 2 |
| 14. CBRと地盤係数 | 2 |
| 15. 地盤調査と土質試験 | 2 |

〔テキスト〕

河上房義「土質力学」(森北出版)

0082 土質力学第2

週2時間 2単位(前期)

- | | |
|--------------|---|
| 1. 土のせん断強さ | 6 |
| 2. 土中の応力解析 | 3 |
| 3. モールの応力円 | 3 |
| 4. 土圧 | 8 |
| 5. 基礎の支持力と沈下 | 6 |
| 6. 斜面の安定 | 4 |

0804 水理学第1

週2時間 2単位(前期)

- | | |
|----------------------|---|
| 1. 基礎概念 | |
| 元および次元 | 2 |
| 連続性と流体の運動の記述法 | 4 |
| 流体の力学的特性, 質量保存の法則 | 1 |
| 運動量保存の法則, エネルギー保存の法則 | 1 |
| 2. 静水力学 | |
| 基礎方程式 | 2 |
| 静水4浮体 | 4 |

	時間
3. 管路の流れ	
基礎方程式	4
単列管路	1
管路網	1
管路の振動流	4
0805 水理学第2	
週2時間 2単位(後期)	
開水路の流れ	
基礎方程式	4
常流と射流	2
せきおよび水門	2
一様断面開水路の水面形	6
断面の変化する開水路の水面形	8
開水路の非定常流	8
0806 土木計画学第1	
週2時間 2単位(前期)	
国土保全計画, 河川総合計画, 水資源計画に関する基礎資料の解析とそれぞれの計画手法について講述する。	
水災害の推移と現状	2
水需要とその予測	2
治水の歴史	3
河川計画	4
利水計画	4
土木計画の一つである交通計画を取上げ, 以下の項目について講述する。	
交通計画の理念	3
交通計画のシステム	4
交通計画の評価	4
交通計画の実例	4
〔予備学習〕	
教養課程における地学および統計学。	
0807 土木計画学第2	
週2時間 2単位(後期)	
土木計画で用いる調査, 分析, 最適化, 評価などの手法について講述する。	
標本調査法	5
相関分析	2
分散分析	2
品質管理手法	2
待合せ理論	3
シュミレーション手法	2

線型計画法	3
工程計画手法	5
助的計画法 (DP)	2
設備更新の理論	2
経済効果測定法	2

〔予備学習〕

推計学大意

0058 測量学及実習

週4時間 2単位 (後期)

1. 緒論	4
2. 距離測量	8
3. 平板測量	12
4. トランシット測量	12
5. 水準測量	8
6. スタジア測量	8
7. 誤差論	8

0808 材料学実験

週3時間 1単位 (前期)

セメント、砂利、砂などの骨材、鋼材などの材料実験演習、コンクリートの練り混ぜから圧縮試験まで。ストレインゲージの応用による測定演習を含む。

〔予備学習〕

土木材料学

0809 土質力学実験

週3時間 1単位 (後期)

1. ガイダンス	3
2. 比重試験, 粒度分析試験	6
3. アッターベルグ限界試験, 簡易判別試験	6
4. 突固めによる土の締固め試験, 透水試験	6
5. 一面せん断試験	6
6. 一軸圧縮試験, 三軸圧縮試験	6
7. 圧密試験	6
8. まとめ	6

〔参考図書〕

土質工学会編, 土質試験法 (土質工学会)

0810 水理学実験

週3時間 2単位 (前期)

管流および開水路流れに関する基礎実験を行い、水理学の基礎知識の習得と現象の把握・観察を行う。

〔予備学習〕

水理学第1, 水理学第2, 数学及び数学演習, 力学及び力学演習

[テキスト]

使用しない。

0811 特別研究

土木工学の分野から各個にテーマが与えられ, そのテーマに関係の深い教官の指導のもとに研究を遂行し, 卒業論文を作成する。

0812 土木工学概論

週2時間 2単位

土木工学における重要なことがらについて概説する。

0008 力学及び力学演習A第2

機械学科参照

0024 推計学大意

機械学参照

0023 計算機プログラミング

化学工学科参照

0814 土木設計学

週2時間 2単位(前期)

- | | |
|--------------------|---|
| 1. 概論 | 2 |
| 2. 構造用材料 | 2 |
| 3. 構造物の設計法 | 2 |
| 4. 設計荷重 | 2 |
| 5. 構造物の型式選定と比較設計 | 2 |
| 6. 安全率および耐用年限 | 2 |
| 7. 耐震設計 | 2 |
| 8. 耐風設計, 防音構造 | 2 |
| 9. 鋼構造の溶接 | 2 |
| 10. 溶接による欠陥 | 2 |
| 11. 溶接設計 | 2 |
| 12. 鋼部材の接合 | 2 |
| 13. 構造物の変形, 振動, 破壊 | 2 |
| 14. 架設計画設計 | 2 |
| 15. 構造物の自動設計, 自動製図 | 2 |

0815 鋼構造工学

週2時間 2単位(後期)

- | | |
|---------------------------|----|
| 1. 構造設計の基本 | 4 |
| 2. 構造物の分類, 機能, 供用限界 | 2 |
| 3. 鋼材の力学的特質, 弾性, 塑性, 破壊力学 | 4 |
| 4. 部材設計上の基礎的問題
引張材 | 12 |

曲げ材		
圧縮材		
曲げ圧縮材板		
5. アーチ, トラス, ラーメンの座屈, 極限強度		4
6. 各種構造例		4
0816 コンクリート構造工学		
週2時間 2単位		
1. 序説		4
2. 材料各論		6
3. コンクリートの種類の性質		6
4. 柱の設計		4
5. 曲げ部材の設計		6
6. PSコンクリート部材概説		4
0817 構造解析学		
週2時間 2単位(前期)		
1. マトリックス算法		4
2. 連立一次方程式		2
3. エネルギー原理と変形法, 応力法		4
4. 骨組構造解析		2
5. 平面応力解析		2
6. 静的解析プログラム		
7. 振動問題解析		4
8. 不安定問題解析		4
9. 固有値計算プログラム		4
0818 橋梁工学		
週2時間 2単位(前期)		
1. 概論		2
2. 橋梁形式と計画		2
3. 橋床構造		2
4. I形桁, H形桁, 槽状桁		2
5. プレートガーダーの設計		4
6. 合成桁		4
7. トラス構造		2
8. 格子桁および鋼床板構造		4
9. アーチ橋およびラーメン橋		2
10. ランガー桁およびローゼ桁		2
11. 吊橋		4
0819 土木構造設計演習		
週3時間 1単位(前期)		

1.	構造物の基礎工の設計演習	時間 15
2.	構造物の下部構造の設計演習	15
3.	構造物の上部構造の設計	15
0820 構造工学演習第1		
	週3時間 1単位 (後期)	
	土木材料学, 構造力学, コンクリート構造工学の考え方を復習し, 演習問題を通じてその応用面を習得する。	
1.	土木材料学, 材料実験に関する演習	12
2.	構造力学第1の前半に関する演習	9
3.	コンクリート構造工学に関する演習	12
4.	構造力学第1の後半に関する演習	9
5.	土木設計学の基本的事項に関する演習	3
0821 構造工学演習第2		
	週3時間 1単位 (前期)	
	鋼構造, 構造解析に関する演習, および構造実験	
0822 土質力学第3		
	週2時間 2単位 (後期)	
	基礎的な土質力学第1, 第2をふまえて第3では土質力学ならびに土質試験結果を設計に適用する仕方について講述する。	
	具体的な講義内容は以下のとおりである。	
1.	土質調査・試験の目的, 計画, 規模	2
2.	土の物理量の試験と設計への適用	4
3.	破壊問題における試験と実際	8
4.	沈下問題における試験と実際	6
5.	透水問題における試験と実際	4
6.	設計における不確実性の処理と安全率	4
0083 地盤工学		
	週2時間 2単位 (前期)	
1.	概説—地盤材料の力学モデル	1
2.	土質力学と岩盤力学の関連	1
3.	岩盤の分類および工学的性質 (強度, 変形特性)	4
4.	岩盤の試験および計測	2
5.	地盤の特性と応力状態, 変形挙動	4
6.	地盤に及ぼす水の影響	4
7.	地盤工学における数値解析	2
8.	基礎地盤に関する問題	3
9.	ダム基礎に関する問題	3
10.	斜面に関する問題	3
11.	トンネルに関する問題	3

0823 道 路 工 学

週2時間 2単位(後期)

- | | |
|--|---|
| 1. 序論 | 2 |
| 道路の歴史, 分類, 管理, 法令 | |
| 2. 道路の幾何学的設計 | 7 |
| 設計区分, 車両の諸元, 幅員, 建築限界, 横断こう配, 平面線形, 縦断線形, 視距, 平面交差, 立体交差 | |
| 3. 土工 | 3 |
| 土質の検討, 切土, 盛土, 土量の算定, 締固め等 | |
| 4. 排水と凍上防止 | 2 |
| 5. 舗装概論 | 4 |
| 舗装の種類, 構造, 設計, 舗装状態の測定 | |
| 6. 路床, 路盤 | 2 |
| CBR, 地盤係数, 下層路盤, 上層路盤の各工法 | |
| 7. 歴青舗装 | 4 |
| 歴青材料, 骨材, アスファルト混合物, 設計, 施工, 簡易舗装等 | |
| 8. セメントコンクリート舗装 | 3 |
| 9. 砂利道, 表面処理等 | 1 |
| 10. 道路の維持修繕 | 2 |

〔テキスト〕

植下, 加藤著「道路工学」(朝倉書店)

0084 土 質 動 力 学

週2時間 2単位(前期)

地震, 地震による被害, 地震時土圧, 応答計算に必要な土の定数, 地盤の液化化など地震工学, 耐震工学を含めて土ならびに地盤の動的性質についてのべる。

- | | | |
|---------------------|---|---|
| 1. 概説 | } | 3 |
| 2. 地震 | | |
| 3. 地震の強さと規模 | | |
| 4. 常時微動 | | 1 |
| 5. 地震による被害 | | 2 |
| 6. 地震計と地震観測 | | 4 |
| 7. 耐震設計の基礎 | | 2 |
| 8. 地震時土圧 | | 6 |
| 9. 応答計算 | | 2 |
| 10. 応答計算に必要な土の定数の決定 | | 4 |
| 11. 地盤の液化化 | | 4 |
| 12. 単純構造物の振動基礎論 | | 2 |

0824 土 木 地 質 学

週2時間 2単位(後期)

地盤の風化と侵食，地質構造と地殻の変動，土木工学における計画，設計，施工
と地質学の関係

0825 土質工学演習

週3時間 1単位

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 土の物理的性質，土の分類 | 1 |
| 2. 土の透水性 | 2 |
| 3. 土中水の流れ（浸透流量，クイックサンド） | 3 |
| 4. 土の締固め | 2 |
| 5. 土の圧密，地盤の沈下 | 4 |
| 6. 土のせん断特性，せん断強さ | 5 |
| 7. モールの応力円 | 1 |
| 8. 土留め構造物の安定（設計） | 6 |
| 9. 土中応力 | 2 |
| 10. 構造物の基礎の沈下，支持力 | 6 |
| 11. クイ基礎 | 4 |
| 12. 斜面安定 | 6 |
| 13. 土質調査 | 3 |

0826 水理学 第3

週2時間 2単位（前期）

- | | |
|---------------|---|
| 1. 2次元ポテンシャル流 | |
| 流れの関数 | 1 |
| 速度ポテンシャル | 1 |
| 基礎方程式 | 2 |
| 複素ポテンシャル | 4 |
| 写像 | 6 |
| 2. 水波 | |
| 表面波 | 6 |
| 水波の屈折と回折 | 2 |
| 重複波 | 2 |
| 波の変形と砕波 | 2 |
| 波力 | 2 |
| 長波 | 2 |

0827 河川工学

週2時間 2単位（後期）

- | | |
|------------|---|
| 1. 河川地形学 | 1 |
| 2. 水文学的水循環 | 1 |
| 3. 降雨特性 | 2 |
| 雨水の機構 | |
| 有効降雨と損失 | |

- | | |
|-------------|----|
| 4. 損失現象 | |
| 蒸発散 | |
| 浸透現象と浸透能 | |
| 5. 流出現象 | 6 |
| 流出の三成分 | |
| 降雨特性と流域特性 | |
| 流出の解析 | |
| 6. 洪水の特性 | 10 |
| 不定流の基礎方程式 | |
| 洪水の特性 | |
| 洪水の追跡 | |
| 7. 地下水の流れ | 8 |
| Darcy 則の一般化 | |

0828 港 湾 工 学

週2時間 2単位 (前期)

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 総論 | |
| 1-1 港湾の変遷 | 2 |
| 1-2 港湾の機能 | 2 |
| 1-3 現代の港湾に関する課題 | 2 |
| (広域港湾, 流通体系への適応, 港湾都市) | |
| 1-4 港湾施設 | 1 |
| 2. 水域施設 | |
| 2-1 概説 | 1 |
| 2-2 風波の予知 | 1 |
| 2-3 漂砂 | 1 |
| 2-4 浚渫埋立 | 1 |
| 3. 外かく施設 | |
| 3-1 概説 | 1 |
| 3-2 防波堤 | 1 |
| 3-3 海岸堤防 | 1 |
| 4. 埠頭施設 | |
| 4-1 概説 | 2 |
| 4-2 埠頭規模の決定 | 4 |
| 4-3 けい船施設 | 4 |
| 5. 管理, 保安施設 | |
| 5-1 概説 | 2 |
| 5-2 港湾, 海岸防災 | 4 |

0829 衛 生 工 学

週2時間 2単位 (前期)

	時間
1. 上水道	10
2. 下水道	12
3. 水質保全	4
4. 大気汚染	2
5. 騒音	2

0830 水工学演習

週3時間 1単位 (前期)

以下の流体運動, 水流に関する演習を行う。

1. 質量保存則: 連続の方程式	6
2. 運動量保存則: エネルギー保存則	6
3. 静水力学	3
4. 管路の流れ	6
5. 開水路定常流	9
6. 開水路非定常流	9
7. 水波	6

0060 都市計画

週2時間 2単位 (前期)

都市	2
人口の流動	2
わが国の地域計画	4
都市計画総論	1
都市計画に関する基礎調査	3
土地利用計画	4
街路計画	3
大量輸送機関計画	3
緑地計画	2
都市開発計画	2
都市公害	2
まとめ	2

0831 交通工学

週2時間 2単位 (後期)

交通現象概説	1
交通調査	3
交通の特性	2
交通流の基礎理論	4
交通容量	2
交通量の推定法	4
駐車場, バス, トラックターミナル	4
高速道路	2

交通制御	時間	4
交通事故		4
0820 鉄 道 工 学		
週2時間 2単位(前期)		
鉄道線路(軌道構造を含む), 線路防護施設, 分岐設備, 停車場(操車場, 水陸連絡設備を含む)および運転保安装置		
[予備学習]		
測量学及び実習, 土木計画学第1, 土木計画学第2, 土木設計学, 土質力学第1, 土質力学第2, 土木材料学		
0833 土木計画学演習		
週3時間 2単位(前期)		
土木計画で用いる各種手法に関する演習。		
1. 概本調査法		6
2. 相関分析		4
3. 分散分析		2
4. 品質管理手法		2
5. 待合せ理論		2
6. シミュレーション手法		2
7. 線形計画法		4
8. 工程計画法		4
9. 動的計画法		2
10. 設備更新の理論などの演習		2
[予備学習]		
土木計画学第2		
0834 土木施工学第1		
週2時間 2単位(前期)		
1. 施工の計画と管理		6
2. 基礎工		14
3. 重機土工		4
4. 施工における注意すべき事項		6
[テキスト]		
松尾友也編:土木施工法(森北出版)		
0835 土木施工学第2		
週2時間 2単位(後期)		
1. 岩盤掘削		6
2. コンクリート工		6
3. トンネル		18
[テキスト]		
松尾友也:土木施工法(森北出版)		

0836 土 木 工 学 特 論

週2時間 2単位 (前期)

実際の土木工学・土木工事に、各基礎科目・応用科目で修得した知識がどのように生かされているか、現在の社会的・技術的要請とそれに対する土木工学の研究段階・研究遂行上の諸方法などについて講述するとともに外資講義を課し、幅広い応用能力の育成に努める。

0837 土 木 法 規

週2時間 2単位 (後期)

道路、河川、都市計画、土地収用、建設業等に関する法令の目的、理念および条項の概説

すなわち、土木事業計画、実施、運営に関する社会的理念と規制の実態ならびに特性の解説

0838 特 別 講 義

随時 2単位

土木工事現場および土木施設の見学を行うほか、土木工学の中のいくつかの重要な問題について、その方面の専門家を講師として特別の講義を行う。題目、講師、開催日時はその都度予告する。

0839 学 術 情 報 分 類 法

週2時間 2単位 (前期)

- | | |
|--------------|---|
| 1. 電子計算機機能概説 | 6 |
| 2. 情報の分類 | 6 |
| 3. 情報の圧縮 | 6 |
| 4. 索引言語、索引記号 | 6 |
| 5. 情報格納法 | 6 |

0840 情 報 検 索 法 及 び 演 習

週4時間 3単位 (後期)

- | | |
|--------------|----|
| 1. 情報検索 | 15 |
| 2. 情報検索システム | 15 |
| 3. 検索プログラム | 15 |
| 4. 検索システムの評価 | 15 |

0066 工 場 管 理

機械学科参照

0067 工 業 経 済

機械学科参照

0068 工 学 概 論 第 1

機械学科参照

0069 工 学 概 論 第 2

機械学科参照

0070 工 学 概 論 第 3

機械学科参照